

# スチュワードシップ・セミナーのご案内

主催：一般社団法人 スチュワードシップ研究会

## 「2015年の株主総会の総括と

## 2016年の株主総会に向けた対話のポイント」

【日時】 2015年8月7日（金）午後2:00～4:30（受付開始1:30）

【会場】 日比谷図書文化館コンベンションホール（日比谷公園内）

### 【講師と演題】

ご挨拶：スチュワードシップ研究会 代表理事 木村祐基

#### I. 講演：「2015年株主総会の総括」

上田亮子氏 日本投資環境研究所 主任研究員

#### II. パネルディスカッション：

「来年の株主総会に向けた対話のポイント」

パネリスト：

岩田直樹氏 野村アセットマネジメント シニア・アナリスト

鎌田博光氏 アムンディ・ジャパン 日本株式ターゲット運用部長

齊藤 太氏 三井住友アセットマネジメント シニアアナリスト

上田亮子氏 日本投資環境研究所 主任研究員

モデレーター：

神山直樹氏 日興アセットマネジメント チーフ・ストラテジスト

## 【講師・パネリストのご紹介】

### 上田亮子（うえだ りょうこ）氏

株式会社日本投資環境研究所 調査部 主任研究員

横浜市立大学大学院博士課程単位満了。みずほ証券入社後、日本投資環境研究所に出向・転籍、現在に至る。2005年4月より明治学院大学非常勤講師。2009年9月より、International Corporate Governance Network（本部ロンドン）の株主責任委員会委員。2013年11月より金融庁金融研究センター特別研究員。

### 岩田直樹（いわた なおき）氏

野村アセットマネジメント株式会社 企業調査部 シニア・アナリスト

一橋大学商学部卒業。日本証券アナリスト協会検定会員。国内企業調査を中心に、内外の株式、債券、為替、先物・オプションへの投資業務などを歴任。現職では、ESG調査、議決権行使などを担当。日本証券アナリスト協会ディスクロージャー研究会委員。日本IR協議会IR優良企業賞審査委員。

### 鎌田博光（かまた ひろみつ）氏

アムンディ・ジャパン株式会社 運用本部 日本株式ターゲット運用部長

国際基督教大学卒業。日本証券アナリスト協会検定会員。山一証券入社後、ほぼ一貫して日本株式関連業務に携わる。1993年に山一投資顧問（現アムンディ・ジャパン）に異動。2002年以降「アムンディ・ターゲット・ジャパン・ファンド」を運用。ガバナンス改革などにより、割安となっている企業の価値向上を目指した運用を行っている。

### 齊藤 太（さいとう ふとし）氏

三井住友アセットマネジメント株式会社 企業調査グループ シニアアナリスト

早稲田大学理工学部卒業。日本証券アナリスト協会検定会員、国際公認投資アナリスト。永年、バイサイドアナリストとして企業との対話に直接携わり、現職では議決権行使やコーポレートガバナンス、エンゲージメントを担当。

### 神山直樹（かみやま なおき）氏

日興アセットマネジメント株式会社 チーフ・ストラテジスト

一橋大学経済学部卒業。日本証券アナリスト協会検定会員、CFA協会認定証券アナリスト。シティ大学（ロンドン）経営大学院にて博士号（ファイナンス）、ニューヨーク大学経営大学院（スターン・スクール）にてMBAを取得。日興証券、日興アセットマネジメントを経て、外資系証券会社のチーフ・ストラテジストなどを歴任。2015年1月より現職。幅広い資産クラスの市場分析・予測を行うとともに、顧客である投資家向けに投資情報や運用戦略等を発信する。

## 申込み方法：

参加ご希望の方は、お名前、ご所属（会社名、部署、役職）、ご連絡先（電話番号およびメールアドレス）を明記のうえ、メールの件名に＜8/7 セミナー申込み＞と記入して、7月31日までに、[info@stewardship.or.jp](mailto:info@stewardship.or.jp) までお申し込みください。

受付が完了した方にはメールでお知らせします。そのメールが参加証となりますので、印刷して当日受付にご提出ください。定員に達した場合は、その旨を当会ホームページ（<http://www.stewardship.or.jp>）でお知らせし、お申込みを締め切らせていただきますのでご了承ください。

なお、「事前のご質問」をお受けいたします。ご質問がある方は、参加お申込みのメールに「事前質問」として、ご記入ください。パネルディスカッションの中で、できるだけ回答させていただきたいと思います。時間の制約などにより、全てのご質問にお答えできない場合は、ご了承ください。

参加費；スチュワードシップ研究会会員無料

一般 1,000 円（当日会場受付にてお支払いください）

## 交通アクセス



\*専用の駐車場はありません。日比谷公園地下駐車場をご利用ください。

## スチュワードシップ研究会について

2014年2月に金融庁から公表された『日本版スチュワードシップ・コード』では、機関投資家が、投資先企業やその事業環境に関する深い理解に基づき、投資先企業との建設的な「目的を持った対話」（エンゲージメント）などを通じて、当該企業の企業価値の向上や持続的成長を促すことにより、顧客・受益者の長期リターンの拡大を図ることが期待されています。機関投資家のスチュワードシップ活動は、議決権行使にとどまるものではなく、企業と「対話」を行うことを含めた幅広い活動を指すとされ、コードの原則7では、「機関投資家は、(中略)当該企業との対話やスチュワードシップ活動に伴う判断を適切に行うための実力を備えるべきである。」とされています。

本研究会は、主に日本株式に投資する機関投資家が会員となってネットワークを形成し、スチュワードシップ活動を行うための「実力」を備えるための研鑽の場を提供し、合わせて適切なスチュワードシップ活動を行うための環境整備に資することを目指しています。

具体的には以下のような活動を行ってまいります。

- ① 機関投資家の情報交換・意見交換・情報共有の場の設定
- ② 外部講師等によるセミナー、研究会等の開催
- ③ 共同による企業等との対話の場の設定
- ④ 関係諸機関への提案・提言や意見発信等
- ⑤ 社会への情報発信、スチュワードシップ活動に関する理解の促進

□当研究会の会員は個人会員と法人会員とする。

- ① 普通賛助会員：スチュワードシップ活動を行う機関投資家、および機関投資家支援等の業務を行う個人。会費2万円/年。
- ② 法人賛助会員：当研究会の活動に賛同する機関投資家およびその支援業務を行う法人。会費10万円/年。5名まで当研究会の活動に参加可能。

□当研究会についてのお問合せや会員のお申し込みは、[info@stewardship.or.jp](mailto:info@stewardship.or.jp) にご連絡ください。

□代表理事の経歴

木村祐基（きむら ゆうき）

1973年野村総合研究所入社。企業調査部にて証券アナリスト業務に従事。同社エマージング企業調査部長、野村アセットマネジメント（株）企業調査部長兼経済調査部長、参事コーポレートガバナンス担当、企業年金連合会年金運用部コーポレートガバナンス担当部長、金融庁総務企画局企業開示課専門官を経て、2014年10月から現職。